

切り下球根を利用したシンテッポウユリ9月出し栽培体系

佐藤孝夫・山形敦子・間藤正美

1. ねらい

シンテッポウユリの作型は露地栽培が中心で8月～11月が出荷期間である。そのなかで、9月は全国的にシンテッポウユリの端境期で、高単価が期待できるが、採花期が不揃いで9月に集中出荷できる栽培技術求められている。本試験では、他のユリ類で用いられている球根貯蔵法を用いることで、9月出しに適した球根の利用体系を検討する。

2. 試験方法

試験1:球根の貯蔵温度が生育に及ぼす影響

- (1) 試験年次 2005年～2006年
- (2) 試験圃場 鹿角市農家圃場
- (3) 貯蔵温度区 1℃、0℃、-1℃、-2℃、-3℃
- (4) 耕種概要 供試品種：雷山2号、播種日：2005年2月5日、定植日：2005年5月10日、1作目切り花収穫期間：2005年8月～10月、球根調整：球周10～12cm、球根予冷温度・期間：1℃・2005年10月28日～12月9日、球根冷凍期間：2005年12月9日～2006年6月18日、球根解凍温度・期間：5℃・2006年6月18日～7月6日、定植日：2006年7月7日

試験2:催芽期間の違いが生育に及ぼす影響

- (1) 試験年次 2006年～2007年
- (2) 試験圃場 秋田農試圃場
- (3) 催芽期間区：1週間、2週間、3週間、4週間
- (4) 耕種概要 供試品種：雷山2号、播種日：2006年2月5日、定植日：2006年5月8日、1作目切り花収穫期間：2006年8月～10月、球根調整：12～14cm、球根予冷温度・期間：1℃・2006年10月25日～12月6日、球根冷凍温度・期間：-2℃・2006年12月6日～2007年6月18日、球根解凍温度・期間：5℃・2007年6月17日～7月7日、定植日：2007年7月5日

試験3:球根の大きさが生育に及ぼす影響

- (1) 試験年次 2005年～2006年
- (2) 試験圃場 秋田農試圃場
- (3) 球根サイズ区：6～8cm、8～10cm、10～12cm、12～14cm)
- (4) 耕種概要 播種から定植までは、試

験1と同じ。

3. 結果及び考察

試験1：

- (1) 球根貯蔵温度1℃では、3月5日においてすべての球根で発芽し、長期間の貯蔵温度には不適であった(表1)。
- (2) 貯蔵温度0℃では、解凍後の出芽の伸長が最も早く、2輪以上の着生率が最も高かった。さらに、採花期間が9月11日～19日までに揃った(表1)。
- (3) 貯蔵温度-1℃では解凍後の出芽が良く球根の腐敗も無かったが、1輪着生率が83.3%と高かった。採花期間は9月中旬から下旬であった(表1)。
- (4) 貯蔵温度-2℃および-3℃では、解凍期間に貯蔵中の凍害と思われる球根の腐敗があり、特に-3℃では93.3%の球根が腐敗した。さらに-2℃では採花期間が10月まで抑制された(表1)。

試験2：

- (1) 各催芽期間において、切り花長はいずれの区も100cm以上確保できて、催芽期間による切り花長の差は認められなかった(表2)。
- (2) 催芽期間が長いほど、2輪以上の花蕾数が多くなった(表2)。
- (3) 7月5日の定植において、催芽期間が2～4週間で、採花は9月に終えた(表2)。

試験3：

- (1) 球根の球周が大きいほど、切り花長、花蕾数、葉数は増加し、球周8～10cmでは切り花長が67.1cmで、球周12～14cmにおいては90cm以上であった(表3)。
- (2) 球根球周で8～10cm区と10～12cm区の採花期間に差は認められなかった。12～14cm区の採花期間は10月まで抑制された(表3)。

4. まとめ

以上のことから、シンテッポウユリの9月出し栽培において、球根の貯蔵温度は0～-1℃が最適である。解凍および催芽期間は4週間行うことで、生育が促進され、花蕾数が増加する。球根サイズは大きいほど切り花長、花蕾数が増加するが、球周8cm以上あれば出荷可能である。

表1 球根貯蔵温度の違いによる球根品質および切り花品質比較 (2006年)

球根貯蔵温度	試験球数	貯蔵期間内出芽率 (%)	定植時の球根腐敗率 (%)	定植時における平均出芽長 (cm)	花蕾数別採花割合 (%)				奇形花発生株割合 (%)	採花始期	採花盛期	採花終期
					1輪	2輪	3輪	4輪				
1℃	30	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
0℃	100	0.0	0.0	5.5	70.0	14.0	14.0	0.0	2.0	9月11日	9月13日	9月19日
-1℃	30	0.0	0.0	4.7	83.3	6.7	6.7	3.3	0.0	9月13日	9月17日	9月26日
-2℃	30	0.0	3.3	0.7	36.7	10.0	10.0	0.0	50.0	9月19日	9月26日	10月6日
-3℃	30	0.0	93.3	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—

表2 催芽期間の違いが切り花品質と採花期間に与える影響(2007年)

催芽期間	試験球数	催芽開始日	定植時における平均出芽長 (cm)	切り花長 (cm)	花蕾数別株数割合 (%)			採花始期	採花盛期	採花終期
					1輪	2輪	3輪			
4週間	20	6月7日	6.4	105.8	36.3	45.5	18.2	9月7日	9月13日	9月18日
3週間	20	6月15日	4.4	104.9	42.9	44.8	12.3	9月18日	9月23日	9月26日
2週間	20	6月21日	1.5	103.0	55.8	33.1	11.1	9月19日	9月24日	9月28日
1週間	20	6月28日	0.0	102.7	56.8	33.3	9.9	10月3日	10月8日	10月12日

表3 定植日の違いと球根球周の違いが切り花品質と採花期間に及ぼす影響 (2007年)

定植日	球根球周 (cm)	試験球数	切り花長 (cm)	花蕾数	葉数	採花始期	採花盛期	採花終期
7月7日	6~8	30	57.3	1.0	38.4	9月16日	9月25日	10月5日
	8~10	30	67.1	1.1	46.4	9月17日	9月27日	10月8日
	10~12	30	77.1	1.5	51.4	9月18日	9月27日	10月10日
	12~14	30	90.8	2.7	63.7	9月18日	9月28日	10月12日